1　国語

学校番号	120

平成 31 年度　国語科

教科	国語	科目	国語総合	単位数	4	年次	1
使用教科書	新編「国語総合」改訂版　（大修館書店）						
副教材等	新国語総合ガイド 五訂版(京都書房)、意味から学ぶ常用漢字（第一学習社）、古典文法クリアノート(尚文出版)、キーワードの卵（尚文出版）						

1 担当者からのメッセージ

・１年生では社会人に必要となる基礎的な国語の力を身に付けることを心がけましょう。
・調べ学習や発表など、アクティブな活動を取り入れた授業を行います。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・古典の時間では、有名な古文と漢文の作品に親しむとともに、正しく心情等を理解するために語彙力や文法の知識をしっかりと身に付けてください。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業の後には内容を振り返って復習してください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2 学習の到達目標

・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a：関心・意欲・態度	b：話す・聞く能力	c：書く能力	d：読む能力	e：知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価）	記述の確認及び分析 （ワークシート、原稿用紙）	記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	随筆・小説の内容を理解するⅠ	【近代以降】 教材: 「ワンダフル・プラネット！」 「子供たちの晩餐」	○			◎	○	a：人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。 d：人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付いている。 e：正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a：行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	評論の内容を理解するⅠ	【近代以降】 教材: 「漢字の性格」 「ペンギンはなぜ一列になって歩くのか?」 「何のために働くのか」	○			◎	○	a：考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえようとしている。 d：考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえている。 e：言語が個人や社会の中で果たしている役割について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e:記述の確認及び定期考査
	調べたことを発表する	【近代以降】 〈評論文をもとに自分の興味を持った仕事について調べ、発表する〉 教材:「調べたことを報告しよう」 ワークシート	○	◎			○	a：何のために、誰に向かって、どのような条件で話すのかを考えようとしている。 b：何のために、誰に向かって、どのような条件で話すのかを考えている。 e：話すこと・聞くことに必要な文の組立てについて理解している。	a、e: 記述の点検と確認 b:行動の観察

	古文入門	【古典】 教材: 「古典の魅力」 説話『沙石集』 「ねずみの婿取り」 『宇治拾遺物語』「児のそら寝」 随筆『徒然草』「公世の二位のせうとに」 「奥山に猫またといふもの」 文法等…歴史的仮名遣い、文語の動詞の基礎	○			◎	○	a：文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 d：文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e：古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察 d：記述の確認及び定期考査 e：小テスト及び定期考査
2学期	人の話を聞いて意見を話し合う	【近代以降】 〈友達以外の人の話を聞くことで、話し方聞き方を学ぶ〉 教材: 「対話からはじめよう」「感想をもとに話し合おう」 ワークシート	○	◎			○	a：何のために、誰に向かって、どのような条件で話すのかを考えようとしている。 b：何のために、誰に向かって、どのような条件で話すのかを考えている。 e：話すこと・聞くことに必要な文の組立てについて理解している。	a、b、e: 行動の観察と確認
	随筆・小説の内容を理解するⅡ	【近代以降】 教材: 「バスに乗って」 「羅生門」 「季節の言葉と出会う」	○			◎	○	a：人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。 d：人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付いている。 e：文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認及び定期考査
	評論の内容を理解するⅡ	【近代以降】 教材: 「水の東西」	○			◎	○	a：文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているかどうかを考察しようとしている。 d：文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているかどうかを考察している。 e：正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察及び記述の点検 d: 記述の確認と分析及び定期考査 e：小テスト及び定期考査

	短詩形文学を味わう	【近代以降】 〈近代詩、俳句と短歌の代表的な作品を鑑賞する〉 教材：教科書に掲載された近代詩、俳句と短歌、「アンソロジーを作ろう」	○			◎	○	a：人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。 d：人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付いている。 e：文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認と分析及び定期考査
	古文の物語・随筆を読む	【古典】 教材： 『伊勢物語』 「筒井筒」 「芥川」 『枕草子』 「春はあけぼの」 「にくきもの」 文法等…文語の用言の活用	○			◎	○	a：文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。 d：文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしている。 e：古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	漢文入門	【古典】 教材： 「漢文のすすめ」「訓読のきまり」「訓読に親しむ」 故事成語「守株」 「論語」 句法等…訓点、再読文字	○			◎	○	a：我が国の言語文化は、中国をはじめとする外国の文化の受容とその変容を繰り返しつつ築かれてきたことに気付こうとしている。 d：文章の組立てや骨組みを的確に捉えている。 e：漢文を読むことに役立つ、訓読のきまりを身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
3学期	評論の内容を理解するⅢ	【近代以降】 教材： 「生きることと食べることの意味」	○			◎	○	a：文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているかどうかを考察しようとしている。 d：文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているかどうかを考察している。 e：正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認と分析及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

	小説の内容を理解する	【近代以降】 教材: 「夢十夜」	○			◎	○	a：人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。 d：人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付いている。 e：文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認と分析及び定期考査
	古文の物語を読む	【古典】 教材: 『平家物語』 「壇の浦の戦い」 文法等…文語の用言の活用、敬語	○			◎	○	a：文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。 d：文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしている。 e：古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	資料をもとに文章を書く	【近代以降】 〈対象を的確に説明するなど、適切な表現の仕方を考える〉 教材: 「資料をもとに文章を書こう」、 ワークシート、	○		◎		○	a：説明するとき、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを適切に書き分けようとしている。 c： 説明するとき、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを適切に書き分けている。 e：文や文章の組み立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	a、c、e: 記述の点検と確認及び分析

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　b：話す・聞く能力　c：書く能力
e：知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について◎または○を付けている。